

空間演出のプロが教える：

擬似ホログラム と ミストスクリーンの 徹底比較ガイドブック

用途・コスト・没入感で選ぶ、
次世代ディスプレイの最適解



株式会社星光技研

Introduction

なぜ今 「空間投影」 なのか？

従来のサイネージにはない圧倒的な視覚効果が、イベントや空間デザインの新たなスタンダードになりつつあります。



視覚的ノイズの最小化（境界線の消失）

従来サイネージは“面”の表現ですが、空間投影は“空気に像”を結びます。ディスプレイの枠がなくなり、周囲の空間と完全に調和します。



強制的なアイキャッチとSNS拡散力

空中に浮かぶ映像は人間の視線を本能的に引きつけます。驚きが写真や動画の撮影行動を誘発し、SNSでの自然な拡散と話題化を強力に後押しします。



新たな体験接点と滞在時間の向上

演出と導線設計を統合することで、「足止め」「撮影」「共有」という一連の体験を創出。結果として、来場者の滞在時間やエンゲージメントが向上します。



成功の鍵は、目的と環境に合わせた
「最適な投影方式の選定」にあります。

擬似ホログラムの主要3方式



3Dファン (LEDファン)

仕組み

ブレード状に配置されたLEDを高速回転させ、人間の目の残像効果を利用して空中に映像を知覚させる方式。

+ 小型・軽量で設置が容易。複数台を連結して大型スクリーン化する拡張性がある。

⚠ 物理的な高速回転を伴うため、回転音が発生し、接触防止の安全カバー等が必要。



透過ディスプレイ ペッパーズゴースト

仕組み

斜めに配置したハーフミラーや透明アクリル板に、別角度から映像を反射・透過させて像を浮かび上がらせる方式。

+ 実物の商品や人物と映像を重ね合わせやすく、ショーケース展示などで高級感を演出可能。

⚠ 綺麗な反射を得るための暗所環境や、光学的な奥行きを確保する筐体スペースが必要。



ミストスクリーン (霧への投影)

自社製品

仕組み

超音波で生成した微細なミスト（霧）でスクリーンを生成し、プロジェクターで映像を投影する方式。

+ 人が映像を「通り抜けられる」唯一の特性を持ち、圧倒的な没入感と体験価値を提供。

⚠ 空調の風に影響されやすいため、設置環境の確認や事前の気流・湿度対策が必要。

3方式の徹底比較マトリクス



3Dファン
(LEDファン)



透過ディスプレイ
ペパースゴースト

弊社の技術



ミストスクリーン
(霧への投影)

	3Dファン (LEDファン)	透過ディスプレイ ペパースゴースト	弊社の技術 ミストスクリーン (霧への投影)
👁️ 映像の浮遊感	高い 境界が見えにくい	中 パネル感がある	高い 空気そのものに投影
🗑️ 透過性 / 通り抜け	不可 高速回転のため危険	不可 物理的な壁になる	可能 唯一無二の大きな特徴
🔧 設置の柔軟性	容易 小型軽量で場所を選ばない	低い 大型筐体や暗所が必要	中 給排水・吊り込みが必要
👓 没入感・体験性	見るだけ 観覧中心のサイネージ用途	見るだけ 展示物との重ね合わせ演出	触れる・通り抜ける 圧倒的なインタラクティブ体験

ミストスクリーンが選ばれる3つの決定的な理由



「境界線ゼロ」の没入感

ディスプレイ特有の「枠（ベゼル）」や「パネル面」が完全に存在しません。空間に溶け込み、映像が本当に空中に浮いているように見える圧倒的な没入体験を提供します。



圧倒的なインタラクティブ性

映像に直接触れたり、人がそのまま通り抜けたりすることが可能な唯一の投影手法です。来場者の驚きを引き出し、フォトスポットとしての撮影・SNS共有が加速します。



五感演出の拡張性

単なる視覚情報にとどまらず、アロマ等の「香り」や、微細なミストによる「触感」を組み合わせた演出が可能。五感に訴えかけることで体験価値を大きく増幅させます。



📌 ケーススタディ：どれを選べば正解？

(目的別 逆引きガイド)

予算やスペースを抑えて
「空中ロゴ」を出したい



📌 3Dファン

【推奨用途】
POP・看板
店舗のアイキャッチ

実物の展示品（商品）を
近未来的に見せたい



📌 透過ディスプレイ

【推奨用途】
商品ショーケース
ステージの人物演出

来場者に強烈な驚きを与え
確実に足を止めさせたい



★ ミストスクリーン

【推奨用途】
イベント・展示会
大型空間演出・エントランスゲート

よくあるご質問とお問い合わせ

Q. 濡れますか？

A. 微細なミストのため通常は濡れ感は最小です。長時間接触や高湿度環境では軽微な湿り気が出る場合があるため配置で配慮します。

Q. 風や空調の影響は？

A. 影響を受けやすい性質があります。事前の下見で送風制御や簡易パーテーション等、環境に合わせた対策を講じます。

Q. メンテナンスは？

A. 水質管理、フィルタ清掃、消耗品交換が必要です。国産メーカーならではの迅速なサポート・保守体制を整えています。

Q. 安全面は大丈夫ですか？

A. ミスト部分は通行可能で安全です。電気・水周りの配線等はイベント基準に則り厳重に養生・保護を行います。

Q. 映像制作で立体感を出すコツはありますか？

A. 「完全な黒背景」で制作し、高コントラストで明快な色使いにすることが重要です。また、モーションをゆっくりと大きく動かすことで、空間における視認性と立体感が格段に向上します。



星光技研

日本国内唯一のミストスクリーン
製造メーカー

お電話でのお問い合わせ

 **026-243-4066**

オンラインMTGのご予約はこちら

